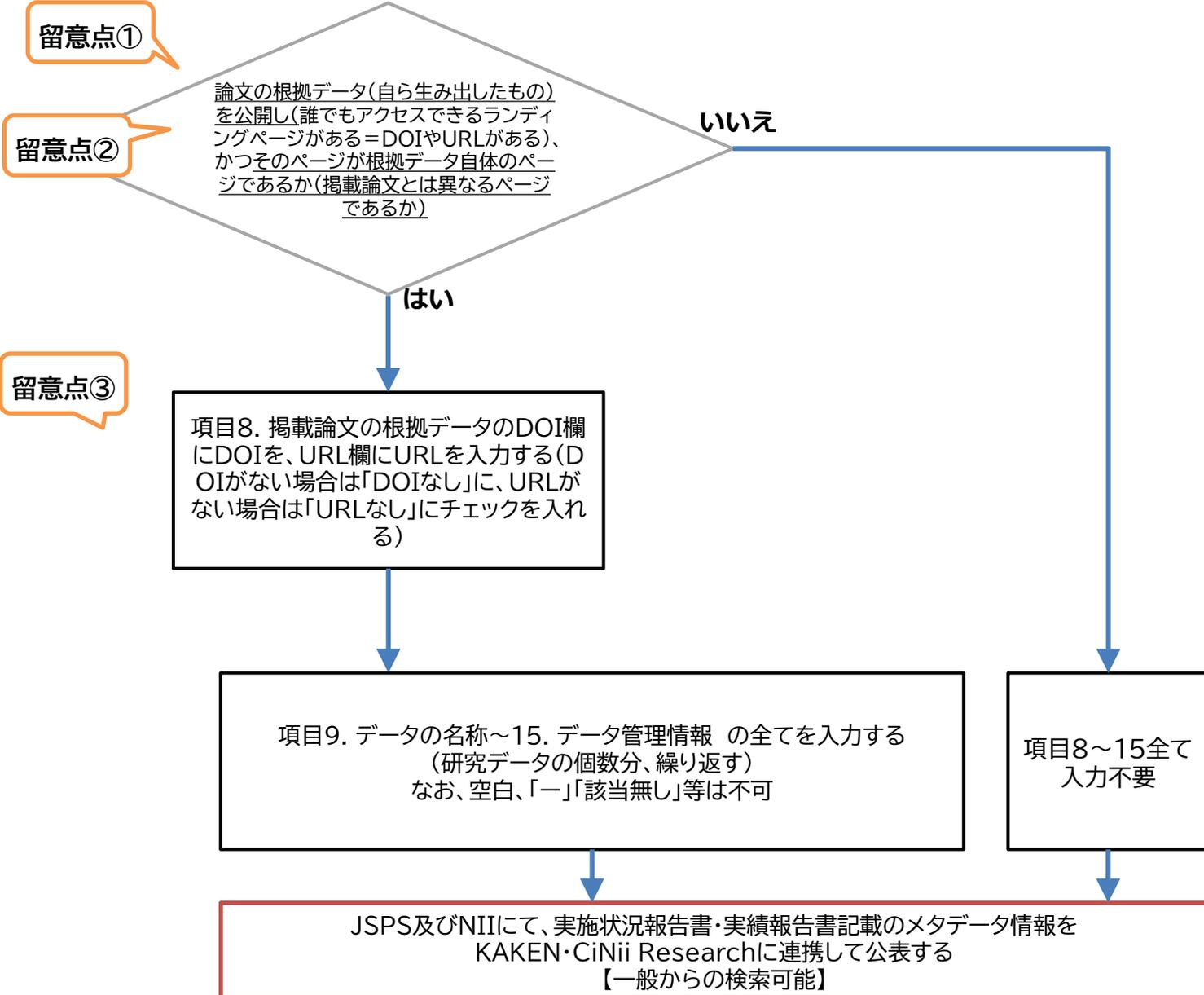


# メタデータ報告の簡易チャートと留意点について

## 掲載論文の根拠データの場合



**留意点①**  
論文の根拠データは原則公開ですが、オープン・アンド・クローズ戦略に基づき、「共有」、「非共有」、「非公開」としている場合は、実施状況報告書・実績報告書において入力していただく必要はありません。

一般に任意の者に利活用可能な状態(すなわち、誰にでも公開しているランディングページがあり=DOIやURLがあり、かつ、エンバゴの設定がない)のデータを「公開」データとして報告してください。

機関リポジトリが整備されていない等のため、個人又はグループ内でデータを保有していて、誰にでも公開しているランディングページがない場合(=DOIやURLがない場合)は「共有」に該当します。

なお、報告対象外となるデータについては、資料の8ページをご確認ください。

DOI, URLを「なし」にチェックを入れれば、システム上は次の画面に進むことができる仕様になってはいますが、DOI・URL両方なしの場合は報告の対象に含めていません。そのため、当該項目はチェックしない、また、それ以降の全ての項目について入力しないようにお願いします。仮に入力されていてもKAKENデータベース等では公開されません。

**留意点②**  
掲載論文と同じランディングページ上にしか公開していない根拠データについては、報告の対象に含めていません。(根拠データ自体を示すランディングページがないことになり、KAKEN・CiNii Researchへうまく連携することができないため)

**留意点③**  
ランディングページについて、DOIとURL両方とも入力することも可能です。その場合は、DOI欄及びURL欄の両方に入力ください。